



<生理痛について> 約5割が「生理痛などの症状がほとんど毎月ある」

首都圏の女性989人に生理痛などの症状があるかを聞いたところ、「ほとんど毎月ある」48.1%、「たまにある」34.3%となり、約5割が生理痛などの症状があると回答した(グラフ)。

年代別にみると、「ほとんど毎月ある」と回答した人は、年代が若いほど高かった。「全くない」と回答した人は、24歳以下では1.9%だが、35歳以上では8.2%と約4倍となった。

生理痛などの症状がある人に、生理痛対策としてやっていることを聞いたところ、「医薬品を飲む」70.9%、「ガマンする」44.7%、「睡眠をたっぷりとる」24.8%と続く(グラフ)。また、生理痛改善のために医薬品を利用する人に、飲んだことがある商品を見たところ、「バファリン」57.1%、「イブ」49.3%と3位以下に大差をつけた(グラフ)。

<ピルについて> 「低用量・中用量ピルを使用したことある」16.2%

低用量ピルの副作用を知っていたかを聞いたところ、「知っていた」44.3%、「知らなかった」55.7%となった(グラフ)。

低用量・中用量ピルを使用したことがあるかを聞いたところ、「ある」16.2%、「ない」83.8%となり、使用したことがない人が圧倒的だった(グラフ)。

また、低用量ピルを今後使用してみたいかを聞いたところ、「使用してみたい」と回答した人は15.7%だった(グラフ)。低用量ピルを「使用したいと思わない」「わからない」と回答した人にその理由を聞いたところ、「副作用があり、体に悪そうだから」60.8%、「仕組みがよくわからず、不安だから」49.2%と続く(グラフ)。

<回答者プロフィール>

- 年齢:24歳以下5.5%、25～29歳27.5%、30～34歳42.2%、35歳以上24.9%。平均年齢31.3歳。
- 居住地:東京都59.3%、神奈川県15.6%、千葉県13.1%、埼玉県11.2%、茨城県0.8%。
- 未婚:未婚74.5%、既婚25.5%。
- 暮らし:親と同居(未婚)46.5%、一人暮らし23.2%、夫婦二人暮らし17.9%、夫婦と子供5.6%、その他6.8%。

<調査実施>シティリビング

シティリビング オフィスで働く女性のための情報紙。一流企業で働くOLとのコミュニケーションを最も効率よく実現するためのマルチアプローチを展開しています。

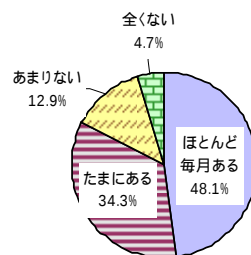
(シティリビングについて詳しくは <http://cityliving.jp/>)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

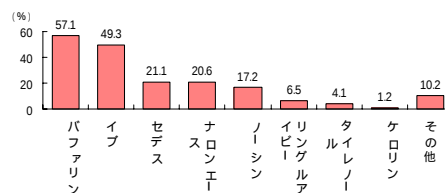
ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

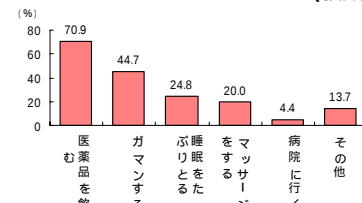
(グラフ) 生理痛などの症状があるか (N=981)



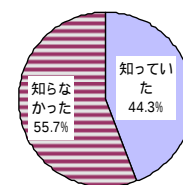
(グラフ) 生理痛改善のために医薬品を利用する人のみ飲んだことのある商品 (N=588) (複数回答)



(グラフ) 生理痛などの症状がある人のみ生理痛対策としてやっていること (N=803) (複数回答)



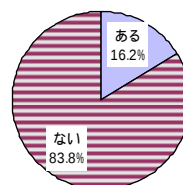
(グラフ) 低用量ピルには右記のような副作用があることを知っていたか (N=980)



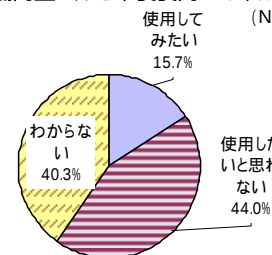
<低用量ピルの副作用>

- ・月経周期が規則正しくなる
- ・出血量が減少する
- ・月経痛・月経前症候群の緩和
- ・子宮体がんなどの発症頻度が低くなる
- ・ニキビや多毛症が改善される
- ...など

(グラフ) 低用量・中用量ピルを使用したことがあるか (N=976)



(グラフ) 低用量・中用量ピル非使用者のみ低用量ピルを今後使用してみたいか (N=802)



(グラフ) 低用量ピルを使用したいと思わない・わからないと回答した人のみ使用したいと思わない・わからないと答えた理由 (N=699) (複数回答)

